

2012年12月19日 (水)

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

企業調査レポート
株式会社フィスコ

■B2Bサイトは単価や購入者数が趨勢的に上昇

ファッション・雑貨業界のメーカーと小売店とが取引するB2B（企業間取引）サイト「スーパーデリバリー」の運営、小売店のバイヤーが仕入れの際に加盟企業との締め払いを可能として効率的にかつ運転資金にゆとりをもった取引を実現できる「Paidサービス」をてがけるEC事業が主要業務。また、子会社で「T&G売掛保証サービス」も展開している。主力サービスである「スーパーデリバリー」の2012年10月末における会員小売店数は34,339店舗（前期末比1,434店舗増）、出展企業数1,042社（同45社増）、商材掲載数374,714点（同54,384点増）。同サイトでないと買えない商品の提供、ニーズのある商品に絞込むなど審査を厳しくすることでサイトの魅力を保っているものの、売買両サイドともに順調な拡大を続けている。

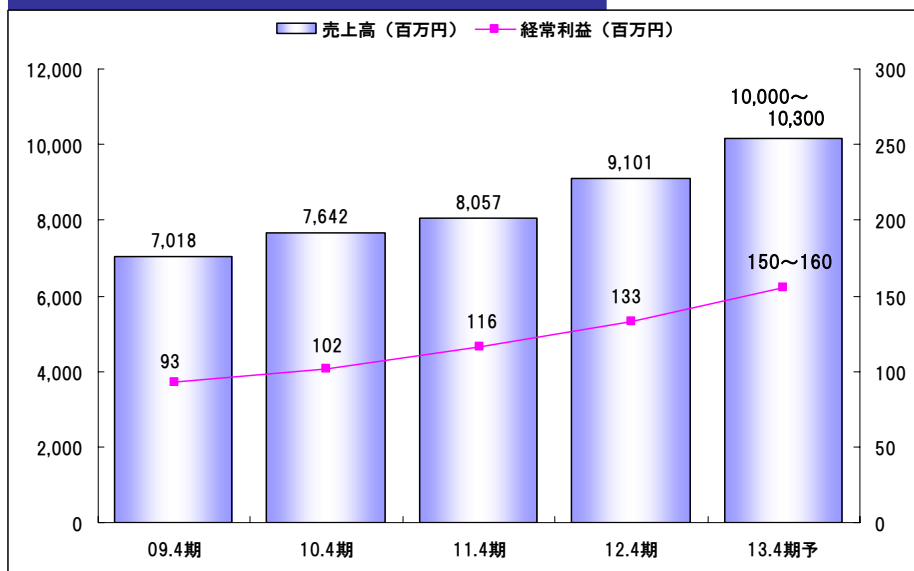
それに伴って、業績も着実に拡大を続けている。11月30日に発表された2013年4月期の第2四半期（5-10月期）決算は、売上高が前期比9.2%増の4,724百万円となった。経常利益も同44.3%増の71百万円と大幅に伸び、過去最高を記録している。「Paid」「T&G売掛保証サービス」における先行投資費用はあるものの、売上高の増加、粗利の改善やその他販管費の抑制で増収かつ大幅な増益を達成した。2013年4月通期でも売上高で前期比9.9～13.2%増の10,000～10,300百万円、経常利益で同12.8～20.3%増の150～160百万円が見込まれている。同社業績は下半期にやや偏重するという季節性を有しており、利益面で保守的である可能性がある。

「スーパーデリバリー」の客単価や購入者数が趨勢的な上昇傾向にあること、「Paidサービス」「T&G売掛保証サービス」におけるサイトとのシナジーおよびサイト外への成長機会獲得なども考慮すれば、引き続き順調な拡大が見込まれる状況にある。また、時価総額11億円に対してネット・キャッシュが約5億円を占める点なども注目される。

■Check Point

- ・売買両サイドともに順調な拡大を継続
- ・業績も着実に拡大しており今期予想は利益面で保守的である可能性
- ・ネット・キャッシュ比率が高い点も注目される状況

売上高と経常利益の推移(単位:百万円)



ディスクレマー（免責条項）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ